



しばた しんすけ
柴田 真佑 さん
しえん
「志縁や」代表

このコーナーでは、2021年10月より弥生担当の地域おこし協力隊として活動している村中宣久が前任の藤原さんより引継ぎ、「ノブに見つかった！」YAYOIのキラリ人をご紹介します。今回は佐伯市役所を退職後弥生で、大分県初のオーガニックレストラン JAS 認定の「志縁や」を経営されている食育・防災のスペシャリスト、柴田真佑さんにお会いしてきました。



●啓発活動と「志縁や」の未来
コロナで啓発活動や講演会、勉強会はなかなか思うようにできなかった昨今ですが、ウイズコロナの時代にだんだんシフトしてきて、講演活動も徐々に復活。停滞するより動かすことで、最初はちよつと動くのが大変だったり、面倒くさくても、前向きになつていきます。しかし、気持ち停滞してしまつたと下を向いてしまつて、前を向いて歩いていこうという気力がなくなつてしまつて、なので普段の生活から「ニコッ」と笑つてもらえるように、あえてソフトクリームも「運呼(うんこ)ソフトクリーム」という名にしたよう。お店に初めて来られた方もソフトクリーム片手に「ニヤニヤ」笑いながら写真を撮つたり(笑)と、皆さんが「にっこり」笑えるそんな活動であったり、お店でありたいと願ひながら今日も皆さんと接しています。このインタビュ

●食育と防災のキーワードは同じ
そんな、人を「ほつ」と笑顔にさせる柴田さんはこれまで全国各地に赴いて食育、そして防災士としての講演会や勉強会を開催されてきました。その中でいつもお伝えしていることは「命をつないでいく」こと。実はこの言葉、食育と防災という一見違う分野に共通するキーワード。
食育では有機オーガニックを広めることで命を生み出す環境を大切に、そしてそこから生み出される自然の恵みを安心して頂くことで命を育む。防災も同じで日ごろの備えや訓練、そしてその啓発活動が我々の命を守り、次の世代の命につながっていきます。

●柴田さんとの出会い
実は私が湘南江ノ島に住んでいたころからお名前を知っており、佐伯の誇るオーガニック意識と食育、そして身近な生活に密接に関わる防災について調べるに必ず出てくる、全国に名の知れた謎のキーマン。なので、偉そうに怖いおじさんだつたらどうしようかなと思ひながらも、「ワクワク」しながら「志縁や」さんを覗いてみました。
そんな私を溢れんばかりの笑顔で「佐伯へようこそ！」と迎えてくれた姿がとても印象的で、出会つてすぐに柴田ワールドに引き込まれてしまいました。



編集後記

最近めっきり寒くなり、夕方暗くなるのも早くなった気がします。「秋の日は釣瓶落とし」なんて事を昔の方はよく言ったもので…。最近では釣瓶を見なくなりましたのでそこから説明が必要とか…。夕方は早めのライト点灯、安全運転で事故の無い弥生地域にしたいものです。(M.S)



食欲、睡眠の秋で眠るしょうがくん

発行：弥生まちづくり協議会
〒876-0112
大分県佐伯市弥生大字上小倉 656-1
(弥生振興局内)
TEL：0972-46-1111

もつと！ 弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニューズペーパー
やよい通信 vol.6
2021
11月

もつと！ 弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニューズペーパー
やよい通信 vol.6
2021
11月



生姜の町・やよい
イメージキャラ
しょうがくん

発行：弥生まちづくり協議会

弥生地区は佐伯市中心部から近く、自然もほどよい暮らしやすい地域です。この弥生地区を「もつと！」楽しむために、おもしろく役立つ情報を不定期でお届けしています。

Topics

- 1: 道の駅やよいインフォメーション：佐藤店長の道の駅おすすめ情報
- 2: フットパスコースにイルミネーションと寄り添う木にマフラーが…
- 3: イベント情報：番匠商会、「プロギング in BANJO」について
道の駅やよい「秋の大収穫祭」について
- 4: 地域おこし協力隊、村中宣久さん着任「ノブです。よろしくお願ひします！」
- 5: 地域おこし協力隊ノブに見つかった!! YAYOI★のキラリ人 (志縁や：柴田真佑さん)

道の駅やよいインフォメーション

新米店長、佐藤ゆーちゃんの道の駅おすすめ情報



今年の4月より店長になった佐藤です。店長になってまだ日が浅く、慣れない仕事も多いですが、毎日全力で頑張っています。弥生を盛りあげて、子どもさんが喜びイベントもどんどん開催していきたいと思っています。コロナで大変な時期ですが、感染対策を万全に行つて、生産者、スタッフ、地域の皆様と共に地域を盛り上げるため一致団結していきますので、お力添えを宜しくお願いします。道の駅のおすすめ情報を紹介します。

冬物野菜大集合

「道の駅やよい」といえば農作物です。地元の生産者の方々が丹精込めて作った野菜の数々は他には負けない美味しさがあります。これからの季節といえばやはり鍋ですが、鍋に欠かせない白菜、大根、水菜、人参、春菊、長ネギ、さといも、生しいたけ等、道の駅にすれば全て揃います。その他、佐伯産のさつまいもやみかんも毎日たくさん揃えていますよ。



生姜ドレッシング



冬物野菜

オリジナル商品「生姜ドレッシング」

弥生といえば「生姜」ということで、道の駅やよいオリジナル生姜商品の開発もしております。その中でも人気なのが「生姜ドレッシング」です。サラダに使うのも良いですが、お肉にも合いさっぱりとした味になっています。お土産だけでなくご自宅でもぜひ一度お試しください。

番匠川、秋の味覚「がん汁」

「がん汁」とは、がに汁が訛つた呼び方で、生きたモクズガニをそのままミキサーにかけて、殻をざるで何度も濾した後に煮立てて、少量の塩と出汁で味付けをする濃厚なスープです。道の駅やよいでは秋の味覚の季節限定メニューとして、9月から「がん汁定食」を販売しています。

清流番匠川で獲れた新鮮なモクズガニを使用した濃厚なスープが特徴の弥生の郷土料理、単品でも注文できますのでぜひご賞味下さい。
11月末頃までの販売となります。



がん汁単品600円
がん汁定食850円
期間中、金、土、日、祝日
のみ販売



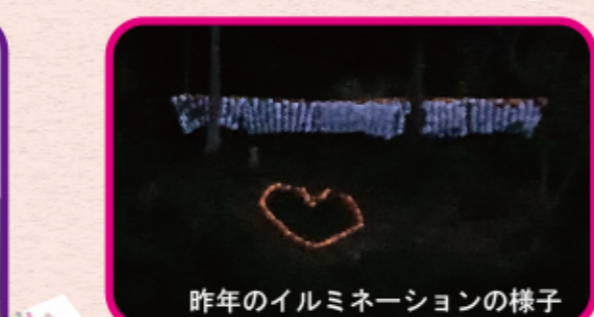
お食事処「くちぐり」の
橋本美弥さん

12月 フットパスコースの寄り添う木にマフラーがかけられ、遊歩道にイルミネーションが点灯します！



寄り添う木

みんな元気で
楽しく毎日過ごそうに☆



昨年のイルミネーションの様子



山王公園にある、寄り添うように立っているシンボルツリー（メタセコイアの木）に仲睦まじく赤いマフラーがかけられます。寄り添う木に挟まれて写真を撮ったり、マフラーには願いを込めてメッセージを書き込むことができますよ！また「道の駅やよい」の対岸、四季の森遊歩道にイルミネーションが！写真は、昨年の様子ですが今年も設置する予定です。冬空の下で大切な人と一緒に眺めてみては・・・

フットパスとは・・・

地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】が出来る小径（こみち）【Path】の事だよ。全国各地の市町村でコース設定されていて、佐伯市でも弥生コースの他に5つのコースがあるよ！



イベント情報

プロギング in BANJYO 開催!!

【プロギングとは】

ゴミ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)を合わせた、スウェーデン発の新しいフィットネスで、エクササイズ、ストレス解消、環境改善に効果があるSDGsスポーツです。

※SDGsとは「持続可能な開発目標」。世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題等を世界のみならずで解決していこうという計画・目標のことです。

【今回初めて番匠川沿いにコースを設定し開催します!】

秋深まる番匠川の景色の中を走ったり・歩いたりしながらゴミを拾って、心と街をきれいにしませんか?コースは参加者の体力に合わせた距離を選べるので、お子さんと一緒でも大丈夫。道具は全て準備しているので手ぶらでOKです。

ステキな記念品もご用意していますので、ふるってご参加ください。

- 日時: 11月21日(日曜日) 9時受付
開会式9:45 閉会式12時
- 場所: 弥生地区公民館前をスタート・ゴール
- コース: 番匠川沿いに5コース程度を設定。
(3km、6km、7km、8km、9km)

- 募集人数: 定員300人
- 参加料: 大人500円、高校生以下無料
- 申込方法: QRコードを読み込み、申込フォームから参加者登録して下さい。それ以外の方は下記連絡先へお電話下さい。
(土日祝祭日を除く)



連絡先: 番匠地域活性化事業実行委員会
(番匠商工会内) Tel. 0972-46-0402



運動しながら
ゴミを拾おう!!

秋の大収穫祭(道の駅やよい)

11月21日(日) 9時~15時

弥生販売物出荷協議会と道の駅やよいによる、第3回秋の大収穫祭を開催します。今年は「弥生の野菜を食べて健康な体になろう!」をテーマに健康増進ブースを設置し、農林産物や加工品等の特産品を格安にて販売!皆様の皆様のご来場をお待ちしています。



とん汁



即売会

- 催し物 -

- ・とん汁無料配布
- ・地元野菜の品評会&即売会
- ・大絶叫大会
- ・地元有志によるステージイベント
- ・その他催し物も盛り沢山!

※マスク着用での来場をお願いします。

収穫祭当日は
番匠おさかな館の入館料が
誰でも100円です!



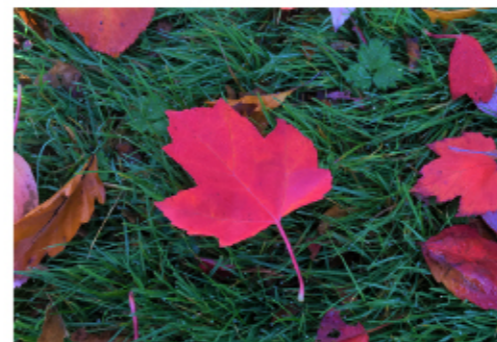
特集

弥生地区に地域おこし協力隊の村中宣久さんが着任しました!! 「ノブ」って呼んでください♪

こんにちは。10月1日より地域おこし協力隊として弥生振興局 地域振興課に配属されました村中宣久です。ノブとお呼びください。隊員としての具体的な活動内容は、道の駅やよいと連携してサイクリングやSUP等のアウトドアアクティビティの推進、そして前任の地域おこし協力隊員の藤原千恵さんが大切にされてきた実験農場「しょがたんばた」を引き継いでいきます。佐伯市の皆さん、特に弥生地区の皆さんと一緒に地域の魅力を発見・発信していけたら嬉しいなと思っております。既に着任早々振興局の皆さんをざわつかせたりしておりますが、少し頭のネジが緩んでいるそんな私、ノブについて自己紹介をさせていただきます。



田中市長より、委嘱状を手渡されたノブ



カナダの国旗に描かれるメープル(カエデ)の葉



カナダ、ロッキー山脈の秘宝、モレーン湖
大自然に魅了されました

そんな心の声に沿って生きる私が、自身の直感によって導かれるようにして来たのがここ佐伯市弥生でした。縁もゆかりも無いですが、佐伯市に住む方々のやさしさ、豊後水道や番匠川を育む美しい自然、今後の持続可能・責任ある社会構築に不可欠なオーガニック憲章に大いに魅了されました。人それぞれ豊かさの定義は違うかもしれませんが、私にとっては「人と自然と未来への想い」という素晴らしい資源が佐伯の豊さであり、魅力だと感じています。

任期3年の中で、その豊かさを皆さんとたくさん共有していけることを楽しみにしております。どうぞよろしくをお願いします!



最近まで住んでいたカナダ・バンクーバーの景色

生まれは東京都で幼少のころは埼玉県や東京都の山の方に遊びに行ってはキャンプやハイキングを楽しみ自然の中で育ってききましたが、高校時代は都心の皇居や日本武道館のある九段下に通い、自然から遠ざかる日々を過ごしました。都心でのストレスからか、はたまた元来のゆるい性格からか学校を年間100日以上遅刻・欠席したりするそんな落ちこぼれの学生でした。自然から離れてしまった高校3年間の鬱憤を晴らすかのごとく、卒業と同時に日本を飛び出しアメリカ合衆国・カナダに渡り、南はカリブ海に浮かぶ魅惑のキューバから北はペランダからオーロラの見えるアラスカやカナダ・ロッキー山脈まで国立公園・自然保護区をめぐる旅をし、エコツーリズムと野外教育についてカナダの大学で遊んで…否、勉強に勤しんできました。

自然を惹きつむこと、遊びながら成長すること、自然体であることを大切に生きてきた私はその後、カナダに残りアウトドアアパレルブランドにて店舗マネージャーをしたり、大学院プログラムでマーケティング分析(主にアウトドアや小売り業の消費者分析)について勉強したり、外資系企業でオペレーション分析やカスタマーサービス部門のマネジメントをしたりと、自身の興味があることと直感に従って生きてきました。私のような落ちこぼれでも、英語で偉そうに指図したりする立場になれるようで、人生とは数奇なものです(小中高生の皆さん、大いに悩んで、楽しんで人生を突き進みましょう。きっと大丈夫だから!).



バンクーバー島でのSUP風景。SUPをしている時の穏やかな時間は最高です。



キューバでのロッククライミング。さて、僕はどこにいるでしょう? →